石狩鳥報 2023

石狩鳥類研究会
会誌第 27 号

はじめに

石狩鳥類研究会会誌「石狩鳥報」は北海道石狩振興局管内の毎年の野鳥記録を報告するものである。当研究会は1997年に設立され，翌1998年に会誌第1号の「石狩鳥報1997」を発行した。以後毎年発行し，今回は会誌第27号となる「石狩鳥報2023」である。

北海道石狩振興局は札幌市，江別市，北広島市，千歳市，恵庭市，石狩市，当別町，新篠津村の6市1町1村からなる。南北で最大120km弱，東西で最大70kmの広がりをもち，総面積はおよそ3,540km^{2}である。管内は陸域（山林，原野，農地，市街地など）や水域（海岸，河川，湖沼など）の多様な環境を含んでいるが，特別に重要視される地域はない。飛来・生息する野鳥の大部分が普通の鳥であり，石狩ならではというものはいない。このような状況において野鳥記録をまとめ続けていくことの目的は，石狩の鳥社会において，どのような状態が普通であるかを知り，その普通さが長い時間軸のうちにどの程度変化するかを知ることにもある。世間一般では往々にして珍しい鳥の記録が重大視される傾向にある。それらの多くは偶然性によるものであるが、中には結果的に石狩の鳥社会の重大な変化の端緒となる場合もあり、ともかくもこまめに記録を纏め続けていかなければならない。

北海道石狩振興局管内

「研究会」と銘打ってはいるが，会としての実体および組織的活動はほとんどなく，会の趣旨に賛同する一般の野鳥愛好家，野鳥写真撮影家，少数の研究者およびそれに近い人達による個人的な観察記録を中心とし，野鳥関係団体会報，学術報告書，さらには新聞紙上に公表された記録などを集約するだけである。なお，近年はWeb上に多くの情報が載せられており，信頼できるものについては新聞紙上と同等に対応している。このようなやり方は基本的に計画的な調査ではないため，年間記録に少なからぬ抜け落ちが生じる可能性がある。しかしながら，記録収集体制の変動（強弱）が年間記録種数変動の無視できない要因となることも想定されるため，あえて設立当初の体制をとり続けている。石狩鳥類研究会による石狩鳥社会の継続観察は四半世紀を超えた。この間に積み重ねられた記録の集積は将来的にも一定の重要性を持つものと自負している。

なお，前号の第26号「石狩鳥報2022」までは冊子体であったが，今号からは基本的に電子体とし，時代の流れに対応することとした。

代表　樋口孝城

マガン　2023 年 4 月 2 日　当別町石狩川河川敷水場

Ⅰ．石狩管内野鳥リストと年次記録

Ⅰ-1．野鳥リスト

表1には2023年現在において石狩の野鳥として採用した344種が載せられている。種名および配列については日本鳥類目録改訂第7版（日本鳥学会目録編集委員会 2012）に従っている。このうちカワビタキとニシオジロビタキは第7版では目録には含まれず検討中の種となっているが，2024年9月に出版予定の第8版には新規に掲載されることになっている（https://ornithology.jp/iinkai/mokuroku/index.html#20230930）。前年の「石狩鳥報2022」では348種であったが，後述する理由により，コアホウドリ，ヨシゴイ，クロヅル，カラフトアオアシシギ，コアジサシ，キンメフクロウの6種が除外され，新たに石狩初記録のアカハラダカとニシオジロビタキの2種が加えられた。

Ⅰ-2．「2014年～2023年の記録」欄

それぞれの年に観察記録が得られたものに●が付けられている。「はじめ」の章でも触れているが，記録は会の趣旨に賛同する人たちの個人記録，各種野鳥関係組織・団体の発行物やホームページに公表されたもの，さらには新聞報道によるもの等に基づいている。個人的探鳥などによるWeb上のものについては広く一般に公表された記録として捉え，発信者などの承諾を得ることまではしていない。ただ，希少種など検討が必要なものについては原則として情報確認が可能なものを採用している。なお，公表の形とは関わりなく，特別に識別に注意が必要なもの，生息分布や季節性に問題があるもの等については，写真等の具体的証拠，あるいは詳細な観察記録の検討により採用の可否を決めている。

石狩管内の野鳥生息・飛来状況のすべてを完全に把握したわけではないため，ある鳥の観察記録がないことが，必ずしも実際にその鳥の生息・飛来がなかったことを意味するものではない。このようなものについて，ある年の飛来・生息が後年になって明らかになった場合には，追加記録として載せている。場合によっては何年も後になってからの追加があり，過去の記録状況との不一致があることをことわっておかなければならない。

Ⅰ-3．「2023年の記録（2022年以前の直近の記録）」欄

希あるいは比較的希なものについては，観察月日・場所などが記されている。2023年に記録が得られなかったものについては、2022年以前の直近の記録を括弧内に記している。2023年の観察日は月/日で，2022年以前については（年/月/日）で示している。月/ のように，日が書かれていないものは，その月に何回か連続的あるいは断続的に観察されていることを表しているが，正確な日が不明というものも少数ある。

空欄になっているものは，基本的に毎年あるいはほぼ毎年安定して記録されているものである。しかしながら，観察される時期・期間や個体数の多寡についてはいろいろな程度があり，すべてが普通に見られるというわけではない。中には各年の記録が1，2例あるいは数例以下で推移しているものもあり，種によっては観察月日を記している。

Ⅰ-4．「資料」欄

2023 年の記録および 2022 年以前の直近の記録のうち，各種野鳥関係組織・団体の発行物に公表された観察記録や新聞等の報道記事に基づくものについては，巻末近くに示す資料の番号を付している。1つの種について複数の報告があるものについては，そのうちの代表的なものを記している。Web 上のものについてはその URL を記している。

野鳥観察記録がすべて報告・公表されるわけではないのはいうまでもない。公表されるのは全体のほんの一部だけでる。重要と思われる記録であっても，すべてに報告を求めるのは現実的ではないだろう。

表1 石狩振興局管内野鳥年次記録（2014～2023）

科・種名	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	2023年の記録（2022年以前の直近の記録）	資料
キジ科												
エゾライチョウ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
ウズラ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
ヤマドリ											(92/4/10 札幌市の1例のみ)	[1]
キジ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
カモ科												
サカツラガン											(09/3/2 千歳市長都沼)	
ヒシクイ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
ハイイロガン		●									(15/11/13～15 千歳市長都沼)	[2]
マガン	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
カリガネ	●						●	●	●		(22/11/ 千歳市長都沼)	
ハクガン	●	●	●		●	●	●	●	●	●	11/ 千歳市長都沼	
ミカドガン				●							(17/10/12,15 千歳市根志越の1例のみ)	[3]
シジュウカラガン	●	●	●		●	●	●	●	●	●	10/ 千歳市長都沼	
コクガン	●										(14/4/12 石狩湾新港, 14/11/28 千歳市長都沼)	
コブハクチョウ		●	●								(16/2/28 千歳市美々川)	
コハクチョウ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
オオハクチョウ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
ツクシガモ											(91/1/3～2/27 石狩市生振茨戸川の1例のみ)	[4]
オシドリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
オカヨシガモ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
ヨシガモ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
ヒドリガモ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
アメリカヒドリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
マガモ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
カルガモ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
ハシビロガモ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
オナガガモ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
シマアジ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
トモエガモ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
コガモ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
オオホシハジロ						●					(19/4/8 石狩河口橋下流右岸河川敷池)	
ホシハジロ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
キンクロハジロ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
スズガモ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
コケワタガモ	●	●	●								(15/12/13～16/2/4 石狩湾新港)	
シノリガモ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
ビロードキンクロ	●	●	●	●	●	●	●	●			(21/3,12 石狩湾新港, 石狩沿岸)	
クロガモ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
コオリガモ	●	●		●		●	●	●		●	3/5 石狩湾新港	
ホオジロガモ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
ミコアイサ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
カワアイサ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
ウミアイサ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
カイツブリ科												
カイツブリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
アカエリカイツブリ			●	●	●		●			●	8/24 いしかり調整池	
カンムリカイツブリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		

科・種名	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	2023年の記録（2022年以前の直近の記録）	資料
ミミカイツブリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
ハジロカイツブリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
ハト科												
カワラバト（ドバト）	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
キジバト	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
アオバト	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
アビ科												
アビ	●	●	●	●						●	5/3 手稲区山口新川	
オオハム	●			●	●	●				●	3/25 石狩海水浴場沖合	
シロエリオオハム											(13/5/14 石狩市厚田港沖合)	
ハシジロアビ		●									(15/2/1 石狩市浜益漁港, 15/2/26 石狩川河口付近)	
ミズナギドリ科												
フルマカモメ											(95/11/9 南区で保護の1例のみ)	[5]
ハシボソミズナギドリ			●								(16/9/10 石狩湾新港東側海岸の1例のみ)	[6]
ウミツバメ科												
ハイイロウミツバメ											(13/1/7 石狩湾新港の1例のみ)	[7]
コウノトリ科												
コウノトリ		●	●					●			(21/4/3 当別町)	[8]
ウ科												
ヒメウ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
カワウ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
ウミウ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
サギ科												
サンカノゴイ											(12/4/14 千歳市長都沼)	[9]
オオヨシゴイ											(00/8/23 石狩川札幌大橋付近左岸河川敷)	
ミゾゴイ				●							(17/5/3 西区宮丘公園の1例のみ)	[10]
ゴイサギ	●										(14/1/24 北区あいの里公園)	
ササゴイ									●		(22/6/7 石狩市新港南付近上空)	[11]
アカガシラサギ		●			●					●	6/24 東区モエレ沼上空飛翔通過	
アマサギ			●	●	●		●		●		(22/6/5 当別町ビトエ), 22/8/30～9/1 いしかり調整池)	
アオサギ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
ダイサギ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
チュウサギ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
コサギ	●	●	●	●	●		●	●	●	●	8,9/ いしかり調整池	
カラシラサギ		●									(15/6/14～18 石狩市八幡干潟)	
トキ科												
ヘラサギ		●	●	●	●	●	●	●	●		(22/8,9/ いしかり調整池)	
クロツラヘラサギ			●	●							(17/8/20,21 石狩川八幡干潟)	
ツル科												
カナダヅル									●		(22/11/19 石狩市生振)	
マナヅル	●					●		●			(21/11/4 千歳市根志越)	[12]
タンチョウ			●	●	●	●	●	●	●	●	春秋期/ 千歳市長都沼, 根志越遊水地	
ナベヅル								●	●		(22/1/ 千歳市長都沼)	
アネハヅル											(12/3/15 千歳市長都沼)	[9]
クイナ科												
シマクイナ											(02/4/22 石狩浜で斃死体回収の1例のみ)	[13]
クイナ	●	●	●	●	●		●		●	●	8/24 東区福移	
シロハラクイナ			●		●						(18/7/23～8/26 北区発寒川)	
ヒクイナ											(06/5/21 石狩川札幌大橋付近左岸河川敷)	

科・種名	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	2023年の記録（2022年以前の直近の記録）	資料
バン	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
オオバン	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
カッコウ科												
ジュウイチ	●	●	●		●	●	●	●	●		(22/6/12 野幌森林公園)	
ホトトギス	●										(14/5/30, 14/6/15 北広島市若葉町)	
ツツドリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
カッコウ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
ヨタカ科												
ヨタカ	●	●	●						●		(22/8/ 中央区旭山記念公園)	
アマツバメ科												
ハリオアマツバメ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
アマツバメ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
チドリ科												
タゲリ	●	●	●	●	●	●	●			●	10/28 千歳市根志越	
ケリ						●					(19/6/14 石狩市厚田区聚富の1例のみ)	[14]
ヨーロッパムナグロ							●				(20/4/11,12 石狩湾新港東浜の1例のみ)	[15]
ムナグロ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
ダイゼン	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
ハジロコチドリ	●	●			●	●	●	●	●			
イカルチドリ		●	●	●				●		●	8/11 石狩浜	
コチドリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
シロチドリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
メダイチドリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
オオメダイチドリ									●		(22/9/1 石狩浜)	
オオチドリ				●				●			(21/5/22 石狩浜)	[16]
ミヤコドリ科												
ミヤコドリ		●			●	●		●		●	10/7 石狩浜	
セイタカシギ科												
セイタカシギ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
ソリハシセイタカシギ								●		●	5/31, 11/8 石狩浜	[17]
シギ科												
ヤマシギ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
アオシギ	●	●			●				●	●	1/31 江別市大麻第一緑地付近河川	
オオジシギ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
タシギ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
オオハシシギ		●		●	●			●		●	10/19～27 いしかり調整池	
シベリアオオハシシギ											(01/6/15～19 石狩川八幡干潟の1例のみ)	[18]
オグロシギ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
オオソリハシシギ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
チュウシャクシギ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
ダイシャクシギ		●									(15/4/15 石狩浜)	
ホウロクシギ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
ツルシギ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
アカアシシギ	●			●	●			●	●	●	9/22 石狩湾新港東浜	
コアオアシシギ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
アオアシシギ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
コキアシシギ											(80/9/13 石狩市八幡町排泥地の1例のみ)	[19]
クサシギ	●	●				●	●	●	●	●	9/4 いしかり調整池	
タカブシギ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		

科・種名	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	2023年の記録（2022年以前の直近の記録）	資料
キアシシギ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
ソリハシシギ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
イソシギ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
キョウジョシギ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
コオバシギ		●		●	●	●	●	●		●	9/ いしかり調整池	
オバシギ	●			●	●	●	●	●	●	●	8/ 石狩浜	
ミユビシギ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
ヒメハマシギ			●								(16/9/15 石狩浜の1例のみ)	[20]
トウネン	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
ヨーロッパトウネン	●	●		●	●	●	●	●	●	●	8/20 石狩浜	
オジロトウネン	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
ヒバリシギ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
ヒメウズラシギ							●	●			(21/9/2～9 石狩浜)	[21]
アメリカウズラシギ	●		●	●	●		●	●	●		(22/9 いしかり調整池)	
ウズラシギ	●	●	●	●	●		●	●	●	●	8/ 石狩浜, 10/22 いしかり調整池	
サルハマシギ					●		●				(20/8/31 石狩浜)	
ハマシギ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
アシナガシギ											(93/7/7～8/1 石狩市生振石狩川河川敷の1例のみ)	[22]
ヘラシギ		●	●	●	●		●		●		(22/9/17 石狩浜)	
キリアイ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
コモンシギ							●				(20/9/10 石狩浜)	[23]
エリマキシギ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
アカエリヒレアシシギ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
ハイイロヒレアシシギ								●			(21/11/28 石狩湾新港東埠頭の1例のみ)	[24]
レンカク科												
レンカク		●								●	9/30 東区モエレ沼	[25]
ツバメチドリ科												
ツバメチドリ	●			●					●		(22/8/15 石狩浜)	
カモメ科												
ミツユビカモメ		●							●		(22/11/27 石狩浜)	
ユリカモメ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
ズグロカモメ											(10/3/25～27, 10/4/2～4 千歳市長都沼)	[26]
ウミネコ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
カモメ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
ワシカモメ	●	●	●	●	●	●		●	●	●	11/ 石狩湾新港	
シロカモメ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
セグロカモメ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
オオセグロカモメ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
コシジロアジサシ		●			●						(18/9/2 石狩浜)	
アジサシ	●	●	●		●	●	●	●	●		(22/10/ 石狩沿岸)	
クロハラアジサシ		●	●		●	●	●	●	●		(22/9/10 石狩川江別市美原)	
ハジロクロハラアジサシ	●	●								●	6/30, 7/1 東区モエレ沼	
トウゾクカモメ科												
トウゾクカモメ											(07/8/18 石狩浜の1例のみ)	[27]
クロトウゾクカモメ											(12/10/2,9 石狩川八幡千潟, 12/10/9 石狩浜)	[28]
ウミスズメ科												
ハシブトウミガラス											(12/1/6 石狩湾新港)	
ウミガラス		●				●					(19/12/21 石狩湾新港)	
ケイマフリ	●	●								●	12/28,29 石狩湾新港	

科・種名	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	2023年の記録（2022年以前の直近の記録）	資料
マダラウミスズメ											(05/1/2 石狩湾新港)	
ウミスズメ	●										(14/3/20 石狩湾新港)	
コウミスズメ											(11/1/10 清田区平岡で保護)	
エトロフウミスズメ											(04/11/17～19 石狩市浜益沿岸)	[29]
ウトウ							●				(20/7/17 石狩湾新港)	
ミサゴ科												
ミサゴ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
タカ科												
ハチクマ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
トビ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
オジロワシ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
オオワシ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
チュウヒ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
ハイイロチュウヒ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	10/11 千歳市長都沼	
マダラチュウヒ	●	●			●		●			●	5/3 石狩川左岸側当別町ビトエ	
アカハラダカ										●	6/10 石狩市厚田区　　石狩初記録	[30]
ツミ	●		●	●	●	●		●	●		(22/9/22 石狩湾新港付近)	
ハイタカ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
オオタカ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
サシバ											(10/6/6 南区砥山ダム付近の1例のみ)	[31]
ノスリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
ケアシノスリ	●	●	●			●	●	●			(21/10/21 江別市美原)	
カタシロワシ	●										(14/11/13 千歳市長都沼の1例のみ)	[32]
クマタカ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
フクロウ科												
オオコノハズク			●					●		●	1/1 豊平区天神山緑地	
コノハズク	●	●		●	●				●		(22/10/11 北区北大構内で保護)	
シロフクロウ											(02/10/23 石狩市生振石狩川河川敷)	[33]
フクロウ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
アオバズク	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
トラフズク		●		●			●	●		●	10/ 新篠津村石狩川沿い農地	
コミミズク	●		●	●	●		●			●	10/ 新篠津村石狩川沿い農地	
ヤツガシラ科												
ヤツガシラ	●				●		●	●			(21/5/4 千歳市白樺)	[34]
カワセミ科												
アカショウビン											(13/6/28 南区十五島公園)	
カワセミ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
ヤマセミ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
ブッポウソウ科												
ブッポウソウ		●					●	●		●	7/8 豊平区西岡公園	[35]
キツツキ科												
アリスイ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
コゲラ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
コアカゲラ	●	●	●	●	●	●	●	●		●	4/15 北区茨戸川緑地	
オオアカゲラ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
アカゲラ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
クマゲラ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
ヤマゲラ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		

科・種名	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	2023年の記録（2022年以前の直近の記録）	資料
ハヤブサ科												
チョウゲンボウ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
アカアシチョウゲンボウ											(11/5/22 恵庭市漁太の1例のみ)	[36]
コチョウゲンボウ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
チゴハヤブサ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
シロハヤブサ											(06/3/30 北広島市内)	
ハヤブサ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
サンショウクイ科												
サンショウクイ	●	●		●	●	●	●				(20/5/14～19 北区北大構内, 20/5/21 中央区旭山公園)	
コウライウグイス科												
コウライウグイス											(13/5/23 手稲区前田森林公園)	[37]
オウチュウ科												
ハイイロオウチュウ							●				(20/5/13 野幌森林公園の1例のみ)	[38]
モズ科												
モズ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
アカモズ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
オオモズ	●	●	●	●				●			(21/3/28 当別町ビトエ)	
カラス科												
カケス	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
カササギ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
ホシガラス				●	●	●		●			(19/10/7 手稲区前田森林公園)	
コクマルガラス	●	●	●	●	●	●	●		●	●	10/25,28 北区北大構内)	
ミヤマガラス	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
ハシボソガラス	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
ハシブトガラス	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
キクイタダキ科												
キクイタダキ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
シジュウカラ科												
ハシブトガラ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
コガラ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
ヤマガラ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
ヒガラ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
シジュウカラ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
ヒバリ科												
コヒバリ									●		(22/10/22 石狩浜)	
ヒバリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
ハマヒバリ		●									(15/11/30 石狩海水浴場付近)	[39]
ツバメ科												
ショウドウツバメ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
ツバメ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
コシアカツバメ		●		●	●			●			(21/5/20 石狩浜)	
イワツバメ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
ヒヨドリ科												
ヒヨドリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
ウグイス科												
ウグイス	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
ヤブサメ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
エナガ科												
エナガ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		

科・種名	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	2023年の記録（2022年以前の直近の記録）	資料
ムシクイ科												
モリムシクイ			●							●	11/29～12/2 豊平区豊平公園, 12/10 豊平区天神山緑地	[40]
ムジセッカ											(08/10/11 北広島市富ヶ岡)	
カラフトムジセッカ								●			(21/10/26 豊平区羊ヶ丘で標識)	
カラフトムシクイ		●		●				●	●		(22/ 5/7,8 豊平区豊平公園)	
キマユムシクイ			●				●	●	●	●	5/7 千歳市長都沼	[41]
オオムシクイ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
エゾムシクイ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
センダイムシクイ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
メジロ科												
チョウセンメジロ						●					(19/9/29 手稲区前田森林公園の1例のみ)	[42]
メジロ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
センニュウ科												
マキノセンニュウ	●	●	●	●				●	●		(22/5/28 東区福移)	
シマセンニュウ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
シベリアセンニュウ											(06/12/1 南区真駒内公園の1例のみ)	[43]
エゾセンニュウ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
ヨシキリ科												
オオヨシキリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
コヨシキリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
レンジャク科												
キレンジャク	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
ヒレンジャク	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
ゴジュウカラ科												
ゴジュウカラ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
キバシリ科												
キバシリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
ミソサザイ科												
ミソサザイ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
ムクドリ科												
ギンムクドリ	●					●					(19/11/20 石狩市石狩八幡神社付近)	
ムクドリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
コムクドリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
ホシムクドリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
カワガラス科												
カワガラス	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
ヒタキ科												
マミジロ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
トラツグミ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
カラアカハラ			●								(16/5/7 北区屯田西公園の1例のみ)	[44]
クロツグミ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
マミチャジナイ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
シロハラ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
アカハラ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
ノドグロツグミ				●			●	●			(21/1/18～20 中央区円山公園)	
ツグミ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
ノハラツグミ	●	●	●	●	●	●	●	●		●	2/4 豊平区水源地通り	
ワキアカツグミ							●	●		●	2/ 南区真駒内公園	
ヨーロッパコマドリ											(04/4/29 豊平区羊ヶ丘で標識の1例のみ)	[45]

科・種名	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	2023年の記録（2022年以前の直近の記録）	資料
コマドリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
オガワコマドリ											(03/9/19 石狩市生振で標識)	[46]
ノゴマ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
コルリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
シマゴマ				●			●				(20/5/19 豊平区豊平公園)	[47]
ルリビタキ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
ジョウビタキ	●	●	●		●	●	●	●	●	●	3/31石狩浜はまなすの丘公園, 4/20 中央区旭山公園	
カワビタキ	●										(14/1,2 北区篠路町拓北の1例のみ)	[48]
ノビタキ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
イソヒヨドリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
エゾビタキ	●	●	●	●	●	●	●			●	5/24 北区北大構内, 10/4 手稲区前田森林公園	
サメビタキ	●	●	●	●	●		●	●	●	●	9/ 北区北大構内, 9/19 手稲区前田森林公園	
コサメビタキ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
マミジロキビタキ	●		●		●		●	●		●	6/3 南区真駒内公園	
キビタキ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
ムギマキ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
オジロビタキ			●	●	●	●		●			(21/5/4 北区北大構内, 21/5/6 豊平区羊ヶ丘)	
ニシオジロビタキ										●	10,11/ 手稲区　石狩初記録	[49]
オオルリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
イワヒバリ科												
ヤマヒバリ		●								●	11/13,14 手稲区星置	
カヤクグリ	●	●				●	●	●	●		(22/4/26 中央区旭山記念公園)	
スズメ科												
ニュウナイスズメ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
スズメ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
セキレイ科												
ツメナガセキレイ	●	●		●	●	●	●	●	●	●	9/ いしかり調整池	
キセキレイ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
ハクセキレイ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
セグロセキレイ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
ビンズイ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
ムネアカタヒバリ					●			●			(21/5/12 石狩川八幡干潟)	
タヒバリ	●	●	●	●	●		●	●	●	●	3/17 江別市三原	
アトリ科												
アトリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
カワラヒワ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
マヒワ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
ベニヒワ	●	●	●	●	●	●	●	●		●	11/ 中央区中島公園, 北区茨戸川緑地	
コベニヒワ				●							(17/2/15 北区北大構内)	
ハギマシコ	●	●	●	●			●	●		●	3/5 中央区円山公園	
ベニマシコ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
アカマシコ											(06/11/4 石狩市生振で標識)	
オオマシコ	●	●		●	●	●		●	●	●	10/31 北区北大構内, 11/26 千歳市蘭越	
ギンザンマシコ	●	●	●	●		●	●				(20/1/19 豊平区天神山緑地)	
イスカ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
ナキイスカ	●				●					●	11/15 豊平区天神山緑地, 12/15中央区円山公園	
ウソ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
シメ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
イカル	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		

科・種名	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	2023年の記録（2022年以前の直近の記録）	資料
ツメナガホオジロ科												
ツメナガホオジロ	●	●	●			●					(19/11/16 石狩浜)	
ユキホオジロ			●	●	●	●	●	●			(21/12/ 石狩市)	
ホオジロ科												
シラガホオジロ							●				(20/3/22 手稲区山口)	
ホオジロ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
シロハラホオジロ								●			(21/5/8 野幌森林公園)	[50]
ホオアカ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
コホオアカ											(04/10/10,17 石狩市生振で標識)	
カシラダカ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
ミヤマホオジロ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
シマアオジ											(06まで 北区石狩川河川敷ほか)	
アオジ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
クロジ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
シベリアジュリン			●								(16/2/15 千歳市長都沼付近)	
オオジュリン	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		

Ⅱ．年次記録種数

表1ではスペースの関係で，個々の鳥種の記録を2014年からの最近10年間についてだけ載せているが，記録自体は1997年から取り続けており，それからの各年の記録種数が表2に示されている。ここではカモ目（カモ科），カイツブリ目（カイツブリ科），アビ目（アビ科），ミズナギドリ目（ミズナギドリ科，ウミツバメ科），コウノトリ目（コウノトリ科），カツオドリ目（ウ科），ペリカン目（サギ科，トキ科），ツル目（ツル科，クイナ科），チドリ目（チドリ科，ミヤコドリ科，セイタカシギ科，シギ科，レンカク科，ツバメチドリ科，カモメ科，トウゾクカモメ科，ウミスズメ科）に属するものを水域の鳥，それら以外のものを陸域の鳥としている。実際には，たとえばオオジシギのように水域よりもむしろ陸域を主たる生息域としているもの，逆にカワセミ科の鳥やカワガラスのように陸域よりもむしろ水域を主たる生息域としているものがいるが，ここでは一般的な陸鳥，水鳥という形で，分類上の目(order)レベルでの分け方にしている。

表2　1997～2023の記録種数

	97	98	99	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12
総数	227	232	237	220	233	241	237	245	229	234	225	232	236	239	230	231
陸域	132	132	140	130	136	137	138	137	133	135	131	134	134	136	128	128
水域	95	100	97	90	97	104	99	108	96	99	94	98	102	103	102	103

	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	平均	最少～最多
総数	243	242	247	234	235	236	224	236	239	223	233	234.1	220～247
陸域	137	142	139	137	137	135	131	138	140	126	135	134.7	126～142
水域	106	100	108	97	98	101	93	98	100	97	98	99.4	90～108

図1は表2を視覚的にするために各年の記録種数（総数，陸域，水域）を散布図で示したものである。総数，陸域，水域のどれについても年毎の変動はあるが，長期経年的には増減傾向はほとんど見られない。参考のために近似直線を入れてあるが，傾きはほとんどない。この結果は27年という比較的長期の連続年次記録によるものであるが，たとえば5年毎とか10年毎のものであれば，たまたま調査にあたった年の記録の比較だけで減少傾向とか増加傾向とかしてしまう可能性がある。また，ある年に大きな変動が起こった場合，それが長期的変

動とつながっているものなのかどうか考えることも重要であり，このためにはともかくもできるだけ短い間隔での記録の積み重ねが大事であろう。

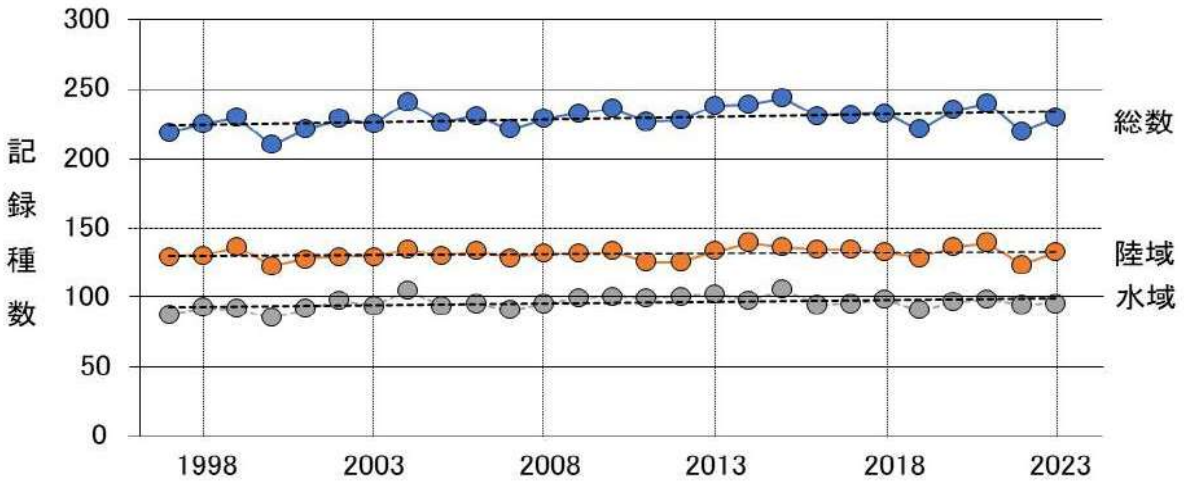

図 1　1997～2023 年の記録種数の変遷

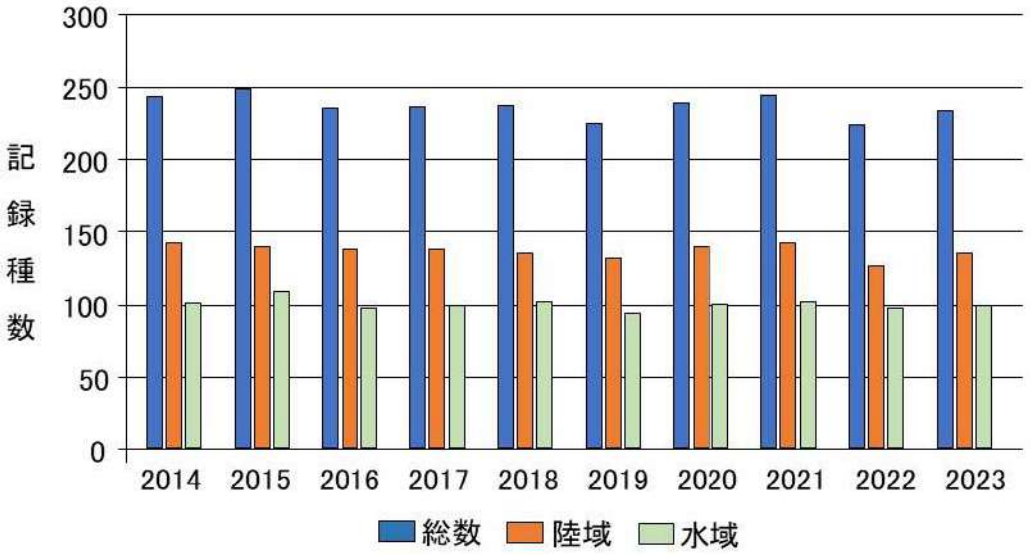

図 2 最近 10 年間（2014～2023）の各年の記録種数

図2は2014年から2023年までの記録種数を，これまた視覚的にするために棒グラフにしたものであり，図1の同期間部分を散布図から棒グラフにしただけのものである。

1年間に記録される種のうちのおよそ8割は，ほぼ毎年安定して記録されるものであり，残り2割が年によって記録されたり，されなかったりという状況であるから，全体的には年による大きな変化が起こることはないのが実際の姿であろう。ただ，小さな変化が大きな変化の前兆になるかもしれないことを意識しておく必要がある。

Ⅲ. 2023年の状況

表2にあるように，2023年の記録は総数が233種，陸域の鳥が135種，水域の鳥が98種で，いずれも過去27年間の記録種数のほぼ平均的なものであった。陸域の鳥について前年2022年の記録種数が過去最少であったため，2023年の記録が注目されたが，少なくとも種類数的には目につくような経年変化は現れていない。

陸域の鳥，水域の鳥のどちらも種類数を見た限りではほとんど変化はなかったが，個々の種類の記録の有無

につき，ここではビロードキンクロとアジサシについて記す。ビロードキンクロは海域で冬季，過去にはクロガモとともにいるのが普通に近く見られていたが，2023年には前年に続いて記録がなかった。また近年少数例が続いていたアジサシの記録が得られなかった。それぞれの種の飛来期に石狩浜や石狩湾新港に行く頻度を増やせば記録が得られる可能性は高いと思われるが，実際に飛来が少なくなってきているのかもしれない。

記録が得られそうで得られなかった鳥としてはジュウイチ，アメリカウズラシギ，ヘラシギ，ツミ，ケアシノスリ，ユキホオジロなどがあげられるが，ジュウイチ，ツミ，ケアシノスリについてはどこかで確認されている可能性が高い。

近年個体数減少が言われているエゾライチョウとウズラについて，エゾライチョウは札幌市南区の山林など，ウズラは江別市の石狩川沿いなどで複数の目撃記録があり，減少が加速しているような感じは受けなかった。これらに比べてマキノセンニュウの記録はここ数年少なくなり，2023年には記録なしとなった。ただマキノセンニュウは声のみによる記録がほとんどであり，視認はあまり期待できないため，記録が得にくい傾向にある。

何年も前からずっと続いていることであるが，ウミスズメ科の鳥の記録は極めて少ない。2023年12月のケイマフリの記録がここ3年間で唯一のものである。過去の記録場所の多くが石狩湾新港であるが，近年港湾工事が随分と行われており，さらには発電用風車建設が洋上で進んでおり，ウミスズメ類に限らず，港湾および近海を利用する海鳥類の飛来・生息が少なくなってくるかもしれない。

これまでずっと記録されており2023年になって初めて記録が途切れたという種はなかった。また，ここ数年でよく記録されるようになったという種もなかった。ソリハシセイタカシギとレンカクは，それぞれ2021年と2015年に次いでの2例目であるが，将来的にも迷行的に希に記録される程度であろうと推測される。2016年に次ぐ2回目の記録であるモリムシクイについても同様である。

Ⅳ．石狩初記録種

アカハラダカ

2023年6月10日午前9時40ごろに，北海道野鳥愛護会会員の北山政人さんにより，石狩市厚田区嶺泊にて上空を飛翔する1羽が目撃・写真撮影された。観察報告および写真が北海道野鳥だより214号（2023）に掲載されている。春の渡りの時期に石狩を通過したものと思われる。北海道では室蘭の測量山（胆振管内）などでの記録はあるが，石狩管内では初めてである。

ニシオジロビタキ

2023年11月に，札幌市在住の満保彩女さんにより，札幌市手稲区にて目撃・写真撮影された。観察報告および写真が2014年3月21日発行予定の北海道野鳥だより第215号に掲載される予定である。石狩管内に限らず北海道全体での初記録である。初めの方で書いたように，ニシオジロビタキは日本鳥類目録改訂第7版では目録には含まれず検討中の種となっているが，近年，本州方面では少数ではあるが確認されており，2024年9月に出版予定の改訂第8版には新規に掲載されることになっている。

Ⅴ．過去の記載鳥種の一部除外

前号石狩鳥報2022のリスト（表1）に載せられている種のうち，コアホウドリ，ヨシゴイ，クロヅル，カラフトアオアシシギ，コアジサシ，キンメフクロウの6種を除外した。コアジサシ以外は，当会が記録をとり始めた1997年よりも前の資料に見られるものである。

コアホウドリ　1934年12月28日に江別野幌の畑地の雪上で午後8時頃，カラスに囲まれて争っている白色大形鳥を，同所を通りがかった人が捕獲・保護したものである。荒天による迷行，風雪・寒気のために飛翔力を失い

同所に降下したのではないかと推測されている。 1ヶ月以上飼育されていたが，野鳥関係者により落鳥処置・標本化された。当該種であることは間違いないが，あまりに古い記録であるため，参考に留める。
出典：山階芳麿・井上元則．1935．コアハウドリ *Diomedea immutazbilis* Rothschild 北海道陸地にて獲らる．鳥 9(41)：81-83.

ヨシゴイ 1979 年 7 月 1 日に行われた北海道野鳥愛護会の福移探鳥会の終了後に見られたことが記されている。しかしながら「ヨシゴイを見た」という記載だけである。同会「探鳥会 30 年の記録」(2001)ではこれを採用して，記録有りとなっているが，「50 年の記録」(2021)には載せられていない。記録の確証に乏しいため参考に留める。
出典：北海道野鳥愛護会．1979．探鳥会報告(福移)．北海道野鳥だより 37:10.

クロヅル 1966 年頃に千歳市馬追沼で羽を痛めて発見された個体が札幌市南区の野鳥関係者により 2 年 6 ヶ月保護されたとのことである。当時の状況を記憶している人もいて当該種であることは間違いないが，記録として残すには，具体的報告などが全くないため参考に留める。
出典：山田良造．1989．北海道に舞い降りた迷鳥たち(3)．北海道野鳥だより 78:3-5.

カラフトアオアシシギ 1972 年 9 月 9 日に石狩川河口で北海道野鳥愛護会会員 3 名により観察されたことが下記出典に載っている。写真により確認されたということであるが，その写真は載せられていない。年月日，場所，観察者は記されているが，それ以外は鳥名だけの記載である。識別やや困難でありアオアシシギの誤認の可能性を否定できず，参考に留める。
出典：北海道野鳥愛護会．1973．鳥の記録 1972～3．北海道野鳥だより 13:11.

コアジサシ 過去の石狩鳥報では 2001 年から 2007 年までの間，2005 年を除いて記録があることにしているが，2008 年以降全く記録がない。記録があった時においても写真などの具体的証拠はなく，目撃者からの「見た」という報告だけである。アジサシの誤認の可能性が高いため除外した。今後確かな記録が得られたならば改めて検討する予定である。

キンメフクロウ 野幌国有林内の動物動物調査書(1936)の鳥類目録にある。「昭和 9 年 11 月 10 日発見(井上技手)」という記載だけである。あまりに古い記録であるとともに，名前だけの記載であるため，参考に留める。
出典：犬飼哲夫．1936．野幌国有林内の動物調査書．北海道林業試験場.

資 料

［１］川路則友．1993．北海道におけるヤマドリ．北方林業 45:4-5.
［２］若狭 隆．2016．ハイイロガンとの出会い．北海道野鳥だより 183：13.
［３］先崎理之．2019．北海道におけるミカドガン*Anser canagicus*の初記録．日本鳥学会誌 68;91-94.
［４］泉 勝統・新城 久．1992．石狩川水系 生振・茨戸川流域の野鳥．北海道野鳥だより 87:6-13.(ツクシガモ)
［５］日本野鳥の会札幌支部．1995．カッコウ 164:15.(フルマカモメ)
［６］石狩鳥類研究会．2017．石狩鳥報2016:12．(ハシボソミズナギドリ)
［７］石狩鳥類研究会．2014．石狩鳥報2013:12．(ハイイロウミツバメ)
［８］山地みのり．2021．日本野鳥の会室蘭支部報「ハヤブサ」165号表紙 (コウノトリ)
［９］北海道野鳥愛護会広報部．2012．長都沼でアネハヅルとサンカノゴイ．北海道野鳥だより 168:5.
[10] 石田卓也．2017．札幌市西区でミゾゴイを観察．北海道野鳥だより 188:7.

[11] 石狩鳥類研究会. 2023. 石狩鳥報2022:14. (ササゴイ)
[12] 佐藤ひろみ. 2022. 北海道から北陸へ ツイッターでたどるマナヅルの移動. 北海道野鳥だより207:13.
[13] 平岡 考. 2003. 石狩市の海岸で拾得されたシマクイナの斃死体について. 北海道野鳥だより 133:3.
[14] 石狩鳥類研究会. 2022. 石狩鳥報2021:13. (ケリ)
[15] 先崎理之. 2021. 北海道におけるヨーロッパムナグロ *Pluvialis apricaria* の初記録. 日本鳥学会誌 70: 67-69.
[16] 中田達哉・須田桂子・津山紗央莉. 2017. 石狩浜でオオチドリを確認. 北海道野鳥だより 190:12.
[17] https://zoopicker.com/field_notes/46323 (ソリハシセイタカシギ)
[18] 山田良造. 2001. シベリアオオハシシギ観察報告. 北海道野鳥だより 125:8-9.
[19] 羽田恭子. 1980. コキアシシギの観察―日本で2回目の記録―. 北海道野鳥だより 41:1,12.
[20] 千葉利久. 2020. 小樽市銭函におけるヒメハマシギ *Calidris mauri* の記憶. 北海道野鳥だより 202:10.
[21] 榛沢日菜子. 石狩浜ヒメウズラシギの観察記録. 北海道野鳥だより206:9.
[22] 泉 勝統・新城 久. 1994. 石狩川水系 生振・茨戸川流域の野鳥(2). 北海道野鳥だより 95:8-10.(アシナガシギ)
[23] 道川富美子. 2020. 石狩浜でコモンシギ. 北海道野鳥だより 202:11.
[24] 石狩鳥類研究会. 2022. 石狩鳥報2021:14. (ハイイロヒレアシシギ)
[25] https://blog.goo.ne.jp/matyagoo/m/202309 (レンカク)
[26] 高橋良直. 2010. ズグロカモメ. 北海道野鳥だより 160:1.
[27] 石狩鳥類研究会. 2008. 石狩鳥報2007:16. (トウゾクカモメ)
[28] 石狩鳥類研究会. 2013. 石狩鳥報2012:12. (クロトウゾクカモメ)
[29] 武田忠義. 2005. マリーン・オーサカ号事故による野鳥被害. 北海道野鳥だより 106:2-3.(エトロフウミスズメ)
[30] 北山政人. 2023. 6月の石狩市 アカハラダカを確認. 北海道野鳥だより 214:10.
[31] 北山政人. 2010. 札幌市南区でサシバを目撃. 北海道野鳥だより 161:10-11.
[32] 角張隆正. 2015. カタシロワシを撮ってしまいました―2014年晩秋の千歳市長都沼―. 北海道野鳥だより 182:3-4.
[33] 石狩鳥類研究会. 2003. 石狩鳥報2002:16. (シロフクロウ)
[34] 北海道新聞 2021年5月18日朝刊地方(札幌近郊). (ヤツガシラ)
[35] 蔵谷ひろ代. 2021. ブッポウソウを札幌市内で観察. 北海道野鳥だより205:12.
[36] 北海道野鳥愛護会広報部. 2011. 恵庭市でアカアシチョウゲンボウ. 北海道野鳥だより 165:10.
[37] 石狩鳥類研究会. 2014. 石狩鳥報2013:12. (コウライウグイス)
[38] 池端耕治. 2020. 野幌森林公園におけるハイイロオウチュウの観察. 北海道野鳥だより 201:9.
[39] 山中 勇. 2016. 石狩の浜でハマヒバリ. 北海道野鳥だより 183:13.
[40] 佐伯武美. 2024. 北海道野鳥だより 215 掲載予定(モリムシクイ)
[41] 千葉利久・内田耕平・和賀大樹・川森日向. 2022. 札幌市内 毎年観察されるキマユムシクイ. 北海道野鳥だより 210:10.
[42] 本多 純. 2020. 前田森林公園(札幌市手稲区)でチョウセンメジロ. 北海道野鳥だより 199:11.
[43] 川路則友. 2020. 北海道とシベリアセンニュウ. 北海道野鳥だより 199:6-8.
[44] 石狩鳥類研究会. 2020. 石狩鳥報2019:12. (カラアカハラ)
[45] 河原孝行.2006.平成16年度羊ヶ丘実験林における鳥類標識結果. 平成16年度森林総合研究所北海道支所年報:67-71. (ヨーロッパコマドリ)
[46] 樋口孝城・広川淳子. 2005. 北海道におけるオガワコマドリの記録. 山階鳥類学雑誌 37:69-71.

[47] 佐伯武美. 2020. 愛しのSpecial Guest. 北海道野鳥だより 201:4-5.(シマゴマ)
[48] 渡部昌樹. 2014. 珍客カワビタキ、札幌の川に現る. 北海道野鳥だより 176:3.
[49] 満保彩女. 2024. 北海道野鳥だより 215 掲載予定.(ニシオジロビタキ)
[50] 田守真一. 2021. 野幌森林公園で初のシロハラホオジロ. 北海道野鳥だより205:12.

終わりに

ここ数年の「石狩鳥報」を踏襲し，今号も2023年の記録と簡単なコメントに留めた。これであれば「石狩鳥報」の継続は可能であろうという作戦である。記録さえ残しておけば将来的に様々な分析・考察が可能であろう。資料については将来的に総合資料集的なものをまとめることを考えている。

ある地域の鳥類相を正確に把握することはかなり困難である。たとえ限られた地域範囲であっても，野鳥記録の少なくない部分は，鳥の飛来と観察者の存在の時間的，場所的一致が必要となる。これは偶然に支配されることが多いが、その偶然的なものも，積み重なれば意味を持つものとなり，さらには時間軸を加えることにより，鳥社会の動的な状況を把握することが可能となる。その時間軸は10年おきとか20年おきとかのような断続的なものであるよりも，毎年という連続的なものであるのが望ましい。何はともあれ，今後も年次記録を残し続けていく予定である。

この「石狩鳥報2023」の作成にあたり，石狩鳥類研究会の趣旨に賛同して野鳥観察情報を寄せてくれる方々，北海道野鳥愛護会会員の方々，北海道大学野鳥研究会の方々などから多くの情報・教示をいただいた。それらの方々にこの場で深く感謝するとともに，この「石狩鳥報2023」の送付をもってお礼とさせていただく。

最後になるが，これまで冊子体として発行していた石狩鳥報を今号からは電子化（PDF）し，冊子体の作成は必要数に留めることとした。また，石狩鳥類研究会については，登録した個々の会員からなる会ではなく，会の趣旨に賛同する人たちの緩やか集合とだけすることにした。

石狩鳥類研究会代表　樋口孝城

石狩鳥報 2023

発　行　日　2024 年 2 月 10 日
編集・発行　石狩鳥類研究会
002-8065 札幌市北区拓北5条2丁目10-17
URL: http://www12.plala.or.jp/ishikarichoken/